

2026年3月16日

課題名：救急隊によるトリアージと大規模言語モデル  
によるトリアージの予測性能の比較研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、救急搬送患者に対するトリアージ（緊急度判定）の予測性能について調べています。本研究では、救急隊員によるトリアージと大規模言語モデル（AI）によるトリアージの予測性能を比較し、将来的にトリアージの判断支援や標準化に役立てることを目指しています。これにより、より適切な医療機関への搬送や救急医療体制の効率化につながる可能性があります。

◆対象となる患者さん◆

2018年4月1日から2018年6月30日までの間に、倉敷市消防局管内から倉敷中央病院へ救急搬送された患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

救急搬送記録、年齢、性別、搬送日時、症状、バイタルサイン、意識レベル、救急隊によるトリアージ結果、院内転帰（入院、ICU入院、救急外来死亡、帰宅など）などの診療情報。

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年5月1日

◆研究方法◆

本研究では、電子カルテおよび救急搬送記録などの既存の診療情報を利用します。また岡山県救急医療情報システムからも情報を取得します。救急搬送記録をもとに大規模言語モデル（AI）によりトリアージを実施し、その結果を救急隊員によるトリアージ結果と比較し、院内転帰との関連を解析します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
救急科 研究責任者 山本篤史

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)  
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明